

解答範囲は、解答番号

1

 から

28

 までです。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(渡邊雅子『論理的思考とは何か』による)

(注) ○アリストテレスⅡ古代ギリシアを代表する哲学者。紀元前三八四〜紀元前三二三。○蓋然Ⅱある程度確実であろうと考えられること。○香西秀信Ⅱレトリック研究者、教育学者。一九五八〜二〇一三。なお、本文中に示される香西の見解は『国語教育指導用語辞典 第四版』に収録される「レトリック」の項による。○ペイストラトスⅡ古代ギリシアのアテネの僧主(非合法な手段でその地の権力を握った独裁者。三度にわたってアテネのアクロポリスを占拠しアテネを統治した。紀元前六〇〇頃〜紀元前五二七。○メガラのテアゲネスⅡメガラは古代ギリシアの都市国家の一つ。紀元前七世紀、テアゲネスはメガラの僧主となった。○ディオニシオスⅡディオニシオス一世と称されることもある。古代ギリシアの植民都市であつたシュラクサイの将軍であつたが、紀元前四世紀初頭、シュラクサイの僧主となつた。紀元前四三〇頃〜紀元前三六七。後出の「デュオニシオス」も同一人物。

一般選抜入試(前期日程) 国語(1月30日)

問一 傍線部⑦～⑩にあたる漢字を、次の各群のうちから一つずつ選びなさい。

解答番号 1 4

⑦	⑧	⑨	⑩
シユウジ	示	辞	事
字			
①	②	③	④
アイマイ	合	暖	扶
相			
①	②	③	④
ゲンミツ	言	限	蔽
原			
①	②	③	④
バクゼン	暴	爆	縛
漠			

問二 傍線部①「なぜレトリックという別の学問が必要なのだろうか」とありますが、その理由として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 5

- ① 人々は自分の常識を前提として行動しており、論理学の扱う形式論理を理解できないため、常識を基盤として人々を説得する学問が必要とされたから。
- ② 論理学は文脈や価値観に左右されずに結論の真偽を決定するため、演繹や帰納といった手法を用いた価値判断をするのに役に立たないから。
- ③ 論理学は文と文との関係を形式的に取り出して真偽を判断するが、日常の思考や議論は常識的な思考によってしか結論を得ることはできないから。
- ④ 形式論理に依拠する論理学の体系は人々を説得することを目的としていないため、日常の思考や議論に対して有効に働かない可能性が高いから。

問三 傍線部②「理性(ロゴス)」、「感情(パトス)」、「倫理(エトス)」とありますが、この三者それぞれもしくは三者の関係について述べた文として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 6

- ① 「理性」は説得するための証拠を得るために必要とされる。
- ② 人々の「感情」を快くさせることによって、論理による説得が可能となる。
- ③ 説得する人間が信頼に値すると思わせる術が「倫理」であり、それが説得につながる。
- ④ 「理性」による理詰めの説得は相手の主張を叩きのめしてしまうため、「感情」「倫理」による説得に劣る。

問四 空欄 X を補うのに最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 7

- ① 行動や議論
- ② 生理や感情
- ③ 思考や思想
- ④ 経験や熟練

問五 空欄 A、B、C を補う組み合わせとして最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 8

- | | | | |
|---|-----------|---------|--------|
| ① | A すなわち | B つまり | C そして |
| ② | A 逆に | B 反対に | C あるいは |
| ③ | A いうまでもなく | B しかし | C むしろ |
| ④ | A あくまで | B したがって | C また |

問六 傍線部③「常に反論が予想される」とありますが、それはなぜですか。最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 9

- ① レトリックは、明白な結論を得るのが困難な議論において用いられるから。
- ② レトリックは人々の同意を求めることを目的とするが、感情的に反発し同意しない人は必ず存在するから。
- ③ レトリックは圧力等によって強制的に同意を引き出すものではないため、人々が同意を翻す可能性があるから。
- ④ レトリックを用いた主張はその正しさをアピールすることが目的のため、つねになんらかの疑いがつきまとうから。

問七 傍線部④「演繹的推論に対応させた『蓋然的推論』」とありますが、「演繹的推論」や「蓋然的推論」について説明したものととして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 10

- ① 演繹的推論は計測可能な蓋然性にもとづくが、常に結論の真偽を判定できるわけではない。
- ② 演繹的推論は一般的・普遍的な前提に立脚している。
- ③ 蓋然的推論は起こる可能性を確率的に推定するために用いられる。
- ④ 蓋然的推論は人間的な確実さ、社会的な確実さを質的に保証することはできない。

問八 傍線部⑤「帰納」に対応する「例証」とありますが、「帰納」や「例証」について説明したものととして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 11

- ① 帰納は個々の事実を出発点とする。
- ② 帰納は一般的な原理や法則を導き出すために、多くの事実や事例を集める必要がある。
- ③ 例証は人々を説得する原理を導く。
- ④ 例証は類似した事例を列挙することで、それを計測可能なものにして人々を説得する。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、原文を改変した箇所があります。

【引用部分は削除しています】

問九 この文章の内容に明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号
12

- ① レトリックが西洋の伝統となり得たのは、アリストテレスによる体系化の影響が大きい。
- ② レトリックは説得手段を見つける能力であるが、それゆえに発想や配列法、表現法が重要となる。
- ③ レトリックは受け手の感情を動かすことを目的とした文章であり、形式論理に立脚したものである。
- ④ レトリックとしては、ある状況から不利益を受けている場合、反対の状況からは利益を受けるだろうと考える

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(金ヨンロン「文学が裁く戦争」による)

(注)
○東京裁判 一九四六年から一九四八年にかけて東京で行われた太平洋戦争に関する極東国際軍事裁判。○関東軍 大日本帝国陸軍のひとつ。○A級戦犯 第二次世界大戦後、連合国が平和に対する罪を問うために訴追した日本の戦争犯罪人。○マッカーサー 第二次世界大戦後、連合国軍最高司令官として日本を実質的に支配したアメリカ人。一八八〇―一九六四。○果敢 東京都豊島区にあった第二次世界大戦後に設置された戦争犯罪人の収容施設を指す。○フェティッシュ 特定の物や状況に対して過度な執着を感じる状態。
○二・二六事件 陸軍青年将校たちが一九三六年二月二十六日から二十九日にかけて起こしたクーデター事件。
○特殊権益 日露戦争後、条約上認められた中国東北部(満州)と内蒙古(モンゴル)での鉄道や鉱山などを内容とする日本の権益。○満州事変 一九三一年九月十八日、中国奉天郊外で起きた線路の爆破事件を契機に、日本軍が中国東北部を占領下に置いた事件。○ロッキード事件 アメリカの大手航空機製造会社であるロッキード社による航空機の受注を巡って一九七六年に明るみに出た、世界的な汚職事件。○児玉誉士夫 日本右翼運動家。一九一―一九八四。○大岡昇平 日本小説家、評論家。戦争文学『俘虜記』の著者。一九〇九―一九八八。
○江藤淳 日本文学評論家。慶應義塾大学名誉教授。一九三二―一九九九。

問一 傍線部①「位相が異なり」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 13

- ① 意義や目的が違って
② 有り様や状況が違って
③ ことばの使い方が違って
④ 好みや嗜好が違って

問二 傍線部②「点とする記号として用いられている」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 14

- ① 戦争裁判も戦犯も断片的に暗示するように描かれている。
② 戦争裁判も戦犯も歴史的なことを教示する表現で描かれている。
③ 戦争裁判も戦犯も意図的ではなく気の向くままに図示するように描かれている。
④ 戦争裁判も戦犯も点滅するサインのように印象的に描かれている。

問三 空欄 A を補うのに、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① 現象 ② 歴史 ③ 比喩 ④ 記録

問四 傍線部③「羊」についての筆者の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 戦時中から世の中を支配し、戦後も日本を覆ってきた実態のない言葉を生み出す雰囲気。
② 羊博士と特殊な関係を持ち、帝国日本の植民地経営を推し進め「特殊権益」を主張した人物。
③ 「鼠」が呑み込んだまま死ぬことで断たれた可能性のある、帝国主義的な領土拡張の欲望。
④ 次々と人へ乗り移っては人の意志を支配し、最後にはその人の命を奪う動物の霊。

問五 傍線部④「名付け以前の存在を黙殺する暴力性を孕む」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 17

- ① 名付けられる前にあった人々の生活の営みを無視し、植民地化する性質を持つ。
② 名付けられる前にあった地名を無視し、帝国日本に合った地名に変えていく性格を持つ。
③ 名付けられる前にあった土地の文化を顧みず、地元の人々の要望に反する要素を持つ。
④ 名付けられる前にあった土地を開拓し、戦後日本のものにしよとする営みを持つ。

問六 空欄 I と II を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号 18

- ① I 抽象度 II 批評性
② I 具象性 II 透明度
③ I 批評性 II 抽象度
④ I 透明度 II 具象性

一般選抜入試(前期日程)

国語(1月30日)

問七 空欄 a 〃 d のいずれかに、次の括弧内の一文が入ります。挿入すべき位置として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 19

「戦後生まれの作家が、戦争裁判に対してまったく新しいアプローチを試みていたのは、その証拠であろう。」

- ① a ② b ③ c ④ d

問八 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 20

① 一九八〇年代はフィクションを通して戦争を描く文学作品が主流となり、中でも「羊をめぐる冒険」は戦争や歴史を暗い幻想として描いたという意味で「ポスト戦後文学」の始まりを告げる作品であるといえる。

② 「羊をめぐる冒険」に登場する「先生」のモデルは兄玉皇主太とされており、彼こそ広告を通して出版と放送を手中に収め、実態のないキャッチコピーを大量に生み出した一九八〇年代を象徴する人物であるといえる。

③ 戦争文学とは戦争のような暴力が再び起こらないようにするために書かれており、その意味でも「羊をめぐる冒険」は戦争文学として位置づけられる作品だといえる。

④ 「僕」以外にさまざまな謎めいた人物が登場する「羊をめぐる冒険」は、冒険めいた移動や、幻想を介在させることで、歴史を召喚するような作品となっている。

〔三〕 左の文章は、平安時代の女性歌人・伊勢の家集である『伊勢集』の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

寛平の帝の御時、大御息所ときこえける御局に、大和に親ある人さぶらひけり。親いとかなしくして、^①なべての男はあはせじと思ひてさぶらはせけるに、御息所の御せうと、いとねむごろに言ひわたたまふを、いかがありけむ。親いか言はむと思へど、^②「なるべき宿世にこそあらめ、若き人頼みがたくぞあるや」と言ひける。年経るほどに、その時の大將の婿になりにけり。親聞きて、さればよと思ひけり。女、かぞりなく恥づかしと思ふほどに、この男のもとより、女の親の家は五条わたるに、来て、柿の紅葉にかく書きつたり。

I 人住まずあれたる宿を来て見れば今ぞ木の葉は錦織りける

女いと心憂きものから、あはれにおほえければ、

II なみださへ時雨にそひてふことは紅葉の色も濃さぞまされる
と書きて、ねずみもちに付けてやりける。^③A ばかりのことなるべし。男も見てかざりなくめでけり。

かく人の婿になりにければ、今は訪はじと思ひて、ありし大和にしばしあらむと思ひて、かく言ひやりける。

III 三輪の山いかに待ちみむ年経ともたづぬる人もあらじと思へば

男の返し、

IV もろこしの吉野の山にこもるとも思はむ人に我遅れめや

かかるほどに、御息所の御もとより、「やがて上りたまひね。宮仕へをせよこそ思ひしか。君達をとやは言ひし」と言ふも、死ぬべく恥づかし。さて上りて仕うまつりあるく、この男、文おこせつつ「逢はむ」と言へども、聞きも入れであるに、この男の兄なる人、「今はその男を男と頼みたまふか、あな幼な、我を思ひたまへ」など言へど、文ばかりをなむ通はしける。逢はざりけり。かく言ふほどに、もとの人もけしきを見聞きけり。女、里にて、前裁のをかしかりけるを、手すさびに尾花を結びた

りけるを、はじめの人の見て、
V 花薄我こそ深く頼みしかほに出てて人に結ばれにける
とて、「聞きたることあるはや」と言ひければ、「数ならぬ身は、何かともかくもあらむ。同じうは」とて、うちとけるけしきに言ふを、あはれと思ふ。されど、逢はでやりつ。

これかれとかく言へと聞かて、宮仕へをのみしけるほどに、時の帝、召しつかひたまひけり。^④よくぞまめやかなりけると思ふに、男宮生まれたまひぬ。親などいみじう喜びけり。仕うまつる御息所も后に居たまひぬ。宮を桂といふところに置きたてまつりて、みづからは後の宮にさぶらふ。雨の降る日、うちながめて思ひやりたるを、宮御覧じて仰せらる。
VI 月のうちの桂の人を思ふとや雨になみだのそひて降るらむ

御返し、

VII ひさかたの中に生ひたる里なれば光をのみぞたのみむべらなる

(『伊勢集』による)

〔注〕

○寛平の帝＝宇多天皇

○大御息所＝藤原温子。太政大臣藤原基経の娘で宇多天皇女御、のち中宮となる。

○大和に親ある人＝大和守藤原経藤の娘である伊勢のこと。後の「女」も同じ。『伊勢集』巻頭部分は伊勢の名を伏せて物語的に記述される。

○御息所の御せうと＝藤原仲平。

○ねずみもち＝モクセイ科の低木。また一説にモチノキ科のイヌツゲを指すともいう。

○三輪の山＝大和国にある三輪山。「我が庵は三輪の山もと恋しくはとぶらひ来ませ移立てる門」(古今和歌集)により「人を待つ」の表象とされた。

○もろこしの吉野の山＝遠い異国の「唐土」と大和国の奥地にある吉野山とを合わせ、行くことが困難な、はるか遠く離れた地であることを強調した表現。

○この男の兄なる人＝藤原時平。

○桂といふところ＝現在の京都市西京区桂の辺り、桂川西岸の一带を指す。

○月のうちの桂＝月の中には桂の巨木が生えているという中国の古代伝承を踏まえる。

問一 傍線部①「なべての男」の意味として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 21

- ① 出世する見込みのない男
② どこにでもいる平凡な男
③ 並一通りでない身分の男
④ 頼りにならない不実な男

問二 波線部a「思へど」、b「思ひて」、c「思ふ」の主語の組み合わせとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 22

- ① a 女 b 女 c 男(仲平)
② a 女 b 男(仲平) c 男(時平)
③ a 親 b 女 c 男(時平)
④ a 親 b 男(仲平) c 女

問三 傍線部②「さればよと思ひけり」とありますが、親はどのようなことに対して「さればよ」と思ったのですか。最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 23

- ① 娘に対する男の愛情は、若者らしい一時の気まぐれなのではないかと憂慮していたこと。
② まだ若い二人であるから、時が過ぎればお互いに熱も冷めるだろうと予想していたこと。
③ 娘が男と結ばれてしまったのは、前世からの深い宿縁によるものかと推察していたこと。
④ 良い家柄の男なので、いずれは出世をして有力な人物になるだろうと期待していたこと。

問四 空欄 A を補うのに最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 24

- ① きざらぎ ② やよひ ③ ふみづき ④ ながつき

問五 傍線部③「思ひしか」の文法的説明として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 25

- ① 動詞「思ふ」の連用形＋終助詞「しか」
② 動詞「思ふ」の連用形＋過去の助動詞「き」の連体形＋係助詞「か」
③ 動詞「思ふ」の連用形＋過去の助動詞「き」の已然形
④ 動詞「思ふ」の連用形＋副助詞「し」＋係助詞「か」

問六 傍線部④「よくぞまめやかなりける」とありますが、ここでいう「まめやか」とは具体的にどのようなことを指していますか。最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 26

- ① 自分についてあれこれと中傷する人々もいる中で、それに耐えながら宮仕えを続けたこと。
② これまでの浮ついた自分の行動を省みて、どの男に対しても誠実であろうと努めていたこと。
③ 身を堅く持して、何かと言いつける男たちの言葉には耳を貸さないようにしていたこと。
④ ただひたすら御息所にお仕えすることだけを心がけ、その他は何も考えないようにしたこと。

問七 本文中のⅠ～Ⅶの和歌をめぐりやとりとの説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 27

- ① ⅠとⅡは男と女の贈答歌で、「自分が訪れなくなったことで寂しく荒れ果てしまった家に、今はただ紅葉だけが美しく色づいていることだ」という男の歌に、女はとても辛く悲しいと思ったので、「あなたに見捨てられたこの古家では、時雨に加えて涙までもが降りそそぐので、紅葉の色もより一層濃くなるのです」と詠み、男に言い返した。
② 女はかつて住んでいた大和にしばらく引きこもろうと思い、「人を待つという三輪山ですが、どれほど待っても訪ねてくれる人などいないと思いますので」というⅢの歌を男に贈ったところ、男から「たどえどどんなに遠い異国の吉野山に隠れ住まいをなさろうとも、私は思い募うあなたから離れることはありません」というⅣの歌が返ってきた。
③ 大和から戻り宮仕えをしていた女に、男の兄が強引に迫ってきて手紙を交わす仲になったことを知り、男は女の実家を訪れて庭の花薄の穂を結び、「私こそがあなたの恋人だと深く信じていたのに、あなたはこうしてあっさり」と他の男と縁を結んでしまったのですか」というⅤの歌を詠み、自分の兄との関係を耳にしていることをほのめかした。
④ ⅥとⅦは後の宮と女との贈答歌で、雨を眺めて物思いにふける女に、後の宮が「月の中の桂、その桂に居る皇子を思っているからなのか、雨に涙が寄り添って降るのでしょうか」と詠みかけられ、女は「月の中の桂という名の里で生い立つ皇子ですので、その人生が末永く光り輝くものになることを、ただもう願うばかりなのです」とお答えした。

問八 伊勢は『古今和歌集』が編纂された時代の代表的歌人ですが、その『古今和歌集』序文に挙げられ、後世「六歌仙」と称された六人のうちに含まれない歌人を一人選びなさい。

解答番号 28

- ① 山部赤人 ② 在原業平 ③ 喜撰法師 ④ 小野小町